

青い海ときれいな空は

一生の宝物

B & G 海洋体験クルーズ

海洋体験クルーズが、3月26日から31日まで小笠原諸島父島で行なわれ、全国の小中学生506名が洋上体験や野外活動を体験しました。

光町からは、光中3年の齋藤勇汰さんと水野将吾さんが参加し、様々な活動をおして海や自然の素晴らしさに触れ、有意義な6日間を過ごしました。

体験クルーズに行つて

齋藤 勇汰

僕は、3月26日から31日までの六日間、体験クルーズに行きました。体験クルーズの初日ということで緊張していたけれど、自分の乗る船が見えてくると緊張も段々なくなり、早く船に乗りたいたいという気持ちが高まってきました。

乗船したら少し時間があり、その後に結団式がありました。その夜には、ウェルカムパーティーがありました。船酔いにとってもひどくて食事ができませんでした。二日目の朝になると、船酔いも回復して船の揺れも段々気持ちよさになっていきまし

た。メンバーとも仲良くなり、会話も弾むようになりました。

二日目と三日目には、洋上で海洋観察が始まり、とても楽しい気分になってきました。洋上研修では、五日目に行う「シユノーケリング」での注意や道具の説明などがありました。

三日目の夜には、明日、小笠原に着くということで、なかなか眠ることができませんでした。朝になると小笠原に着いており、自分の部屋の窓から島が見えていました。小笠原に上陸するとそのまま班行動になり、小笠原の花や木などを見に行きました。それが終わると「シーカヤック」に乗りました。とても気持ち良かったです。

五日目には、現地の踊りを見



体験クルーズに参加したみなさんと

青い空と海の思い出

水野 将吾

海洋研修が終わった今でも、小笠原の青色の海や晴れた日の空の輝きが、僕の目の前に広がっているようです。

青い海に抱かれて、海の底をのぞき込んだ「シユノーケリング」は、とても良い経験になりました。赤や青の珊瑚は、水に揺れて何とも幻想的で、時間が過ぎるのを忘れて見入ってしまいました。

山の中を散策した時には、今までに見たことも無かった植物がたくさんありました。「家に持って帰って、植物の好きな母に見せたいな。」と思いました。ジュマルの木は、つるがたくさん巻き付いていて、とてもユーモラスでした。

船の中の生活は、一日目に船酔いで最悪でしたが、二日目からは、船にも慣れて最高に楽しかったです。同室の友達もみんな明るく元気で、ダジャレ大会などをして盛り上がりました。食事でも豪華で、コースの料理は残さず全て食べてしまいました。友達は「すげえ、こんなの初めてだ。」と感激していました。

船の中で受けた講習の中で一番心に残っているのは「ヨット冒険」という話です。「体力

のない人でもオリンピックの日本代表になれる。」と話してくださった後、「ヨットは、風で走るのだから、風を操ることが大切です。」と聞いた時には、素晴らしいと思い、風と一体になって海の上を滑るように走ってみたいになりました。「すごく気持ちいいだろうな。」と思いました。

僕にとってこの六日間の研修は、青い海や空を見るたびに思い出すことができる一生の宝物となりました。お世話してくださった皆さんの講師の方に心から感謝しています。この六日間の経験は、これからきつと役に立つと思います。ありがとうございました。



左から水野さんと齋藤さん